

2024. 11. 28 多様な視点から保育を見つめなおし、お互いに高め合う

11月初旬の行われた幼児教育研究集会後もたくさんの方が園に視察にきてくださっています。東京、京都、滋賀など県外の先生方もいらっしゃっています。その視察の方法もいろいろで、1週間毎日保育に参加し、一緒に保育をしたり、語り合ったりする中でお互いに子供の姿を核にし考え合う視察、1日朝からじっくり保育を参観し、その後の職員の研究会（金曜カンファレンス）に参加する視察、園の参観後、前期課程の先生も交え幼小接続について一緒に語り合う視察など、その市町や園のニーズに応じながら、視察を行っています。また県や市と協働し、市町アドバイザーや園内リーダー研修などの一つとして、保育参観をしたり、語り合う機会も11月にありました。

様々な視察や研究会、研修を通して、たくさんの方が園の保育について価値づけをしてくださいます。その中の一つに、「幼稚園の子供たちの様子を見ながら、『子供たちの目的意識が濃い』と感じた」というご意見がありました。それを聞きながら、この時期になると本園の子供たちは自分の「好き」を通してやりたいことがハッキリとしている子が多く、またその思いを支える十分な時間と教師の関わり、環境構成からあるからこそそれが空気感となって園空間をつつみ、その中でいきいきと遊ぶ子どもたちを見て、視察の先生がそう感じてくださったのか。また自分のやりたいこと、作りたいものを今までいろいろな支えの中で子供たちなりに実現してきた経験が、自分ならできる！の原動力になり、その思いや力が目的意識の濃さに出ているのか。視察の先生方のご感想から、また自分たちの保育を見つめなおすきっかけにもなっています。

また別の視察の先生からは、「園の先生方も子供たちの仲間であるという雰囲気をよく感じる」というご感想もいただいた。本園では、どの年齢においても、子供とともに考え、ともに感動し、ともに遊びを創り出していく、さらには共に園生活をつくりだしていく。ことを大切にしています。これは福井大学義務教育学校の「共創」というテーマにもつながっています。子供たちと共に遊びを創り出していく一員であるとともに、子供たちが好きと出会い、好きを広げていくきっかけを支える一員でもありたい。日々全職員無我夢中で保育を進めています。このように視察の先生方からの価値づけをしていただく言葉は、改めて自分たちの保育で大切にしていることを見つめなおすことにもつながっていきます。

本園職員は、「この子の好きって何だろう？」「どのような出会いや環境構成が好きを広げるきっかけになるんだろう？」「この姿からどのように広がっていくのだろう？」など日々保育について悩み、試行錯誤し、職員間で語り合いながら省察を繰り返し、保育と向き合っています。

たくさんの方から多様なご意見、ご感想は、我々職員の保育に対する見方、考え方を広げ、多様な視点から自分たちの保育を見つめ直すとてもいい機会です。そして、お互いに高め合う仲間として語り合う時間がなによりも楽しいです。視察にきてくださった先生、本当にありがとうございました！

1月、2月と視察のご希望のご連絡も何件かいただいております。もしご都合が合えば、是非本園の保育をご覧いただき、子供の姿を核にしながるとともに保育について考えていきたいと思っております。本園ホームページに視察の申し込み用紙や園内研究会、金曜カンファレンスのご案内もありますので、ご興味ある方はご覧ください。

本園の研修・視察のページ <https://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzokuyo/training/>

